

服用に際しては、この説明文書を必ずお読みください
また、必要時に読めるよう大切に保管しておいてください

第2類医薬品

漢方製剤

葛根湯

葛根湯エキス顆粒SKT

葛根湯エキス顆粒SKTは、漢方薬の代表的処方「葛根湯」を飲みやすくしたエキス顆粒剤です。かぜのひき初め、頭痛、鼻かぜ、寒気がしてぞくぞくするときに服用していただくと効果があり、眠くなることもありません。また、肩こり、筋肉痛、パソコンやワープロなどの疲労からくる手や肩の痛みを和らげます。



使用上の注意

してはいけないこと



次の人は服用しないこと
生後3ヵ月未満の乳児。

相談すること



1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。
- (4) 胃腸の弱い人。
- (5) 発汗傾向の著しい人。
- (6) 高齢者。
- (7) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
- (8) 次の症状のある人。
むくみ、排尿困難
- (9) 次の診断を受けた人。
高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気、食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症、 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、 筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、 全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
* 多形紅斑	皮膚が広い範囲で赤くなる、水疱が皮膚の赤い部分にあらわれる、 高熱、のどの痛み等が持続したり、急激に悪化する。

3. 1ヵ月位(感冒の初期、鼻かぜ、頭痛に服用する場合には5～6回)服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
4. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

【効能・効果】

体力中等度以上のものの次の諸症：
感冒の初期（汗をかいていないもの）、鼻かぜ、鼻炎、頭痛、肩こり、筋肉痛、手や肩の痛み

【用法・用量】

下記の量を食前または食間にそのまま水かお湯で服用する。

年 齢	1 回量	1 日服用回数
成人（15才以上）	1 包	3 回
7 才以上15才未満	2/3 包	
4 才以上 7 才未満	1/2 包	
2 才以上 4 才未満	1/3 包	
2 才未満	1/4 包	

食間とは食事と食事の間で、前の食事から2～3時間後

<用法・用量に関連する注意>

- 1. 2才以上の幼小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- 2. 1才未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させること。
- 3. 用法・用量を厳守すること。

【成分・分量】

1日量3包（1包2.25g）中

葛根湯エキス（3/4量）	3.75 g
（カッコン……………6 g マオウ……………3 g タイソウ……………3 g	
ケイヒ……………2.25 g シャクヤク…2.25 g カンソウ……………1.5 g	
ショウキョウ…0.75 g より製した乾燥エキス	

添加物：白糖、乳糖、D-マンニトール、ショ糖脂肪酸エステルを含有

【保管及び取扱い上の注意】

- 1. 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- 2. 小児の手の届かない所に保管すること。
- 3. 他の容器に入れ替えないこと。
（誤用の原因になったり品質が変わる。）
- 4. 1包を分割して服用した残りは、袋の口を2回折り返して保管し、2日以内に服用すること。



製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店または下記までお願いします。

北日本製薬株式会社 〒930-0314 富山県中新川郡上市町若杉55
電話番号076-472-1011 受付時間9：00～16：30（土、日、祝日を除く）